

船舶事故等調査報告書

平成24年8月30日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012門第41号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成24年1月19日 18時35分ごろ	
発生場所	大分県大分市大分港 大分港住吉西防波堤灯台付近 (概位 北緯33°15.3' 東経131°35.8')	
事故等調査の経過	平成24年3月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	交通船 第七十八親力丸 <sup>おやりき</sup> 、5トン未満	
船舶番号、船舶所有者等	271-30205 広島、親力海運株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	左舷ビルジキールに亀裂	
事故等の経過	<p>本船は、貨物船搭載の交通船であり、陸上での用事を終えた一等航海士が船長として1人で乗り組み、船員2人を乗せ、船首約0.3m、船尾約0.4mの喫水で大分港住吉泊地の北西方沖に錨泊している貨物船に帰船するため、航行を開始した。</p> <p>船長は、周囲に航行する船舶がいなかったことから、帰船に掛かる時間を短縮しようとし、貨物船への最短距離となる泊地開口部西側の住吉西防波堤に接近する針路で航行中、東からの風により西方に圧流され、平成24年1月19日18時35分ごろ住吉西防波堤先端部周囲に設置された水面下の消波ブロックに船底が接触した。</p> <p>本船は、若干の浸水が認められたが自力で航行し、貨物船に格納された。</p>	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 東、風力 5、視程 約1海里 海象：波高 約80cm、潮汐 下げ潮の初期 発表注意報・警報：大分県中部に強風注意報及び波浪注意報（大分地方気象台）	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、大分港住吉泊地を同泊地の北西方に錨泊している貨物船に向けて航行中、船長が住吉西防波堤に接近する針路で航行したことから、東からの風により西方に圧流され、同防波堤先端部の周囲に設置された水面下の消波ブロックに乗り揚げたものと考えられる。 船長は、貨物船への帰船に掛かる時間を短縮しようとし、住吉西防波堤に接近する針路で航行し

	た可能性があると考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、大分港住吉泊地を同泊地の北西方に錨泊している貨物船に向けて航行中、船長が住吉西防波堤に接近した針路で航行したため、東からの風により西方に圧流され、同防波堤先端部の周囲に設置された水面下の消波ブロックに乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風潮流による圧流を考慮した操船を行うこと。</li> </ul>